

FABER S.p.A製アイランドレンジフード

CYLINDRA ISOLA

施工要領書



Index

・ 施工業者・デザイナー・設計士の皆様へ（必ずお読みください。）	2
・ 構成部品・同梱ビス・ボルト・必要工具	3～4
・ 寸法図	5
・ 施工手順	6～10

施工業者・デザイナー・設計士の皆様へ（必ずお読みください。）



FABER社製品についてはすべて出荷前に検品を実施し動作に問題ないかの確認後に出荷しておりますが輸送時の衝撃等による不具合発生の可能性は排除できませんので商品受け取り時や施工前には必ず動作確認（試運転）の実施をお願いいたします。動作確認を行わずに設置後、不具合が確認された場合はあらゆる保証の対象外となることでもありますのでご注意ください。

キッチンの設計にあたっては本書を熟読になり、アフターメンテナンス可能な動線の確保（フード本体の取り外しおよびフード各部位へのアクセスが可能な設計）をお願いいたします。

施工は本書の通りに行ってください。本書通りの施工がなされていないことが原因によるあらゆる製品能力の欠乏、故障、事故等については一切の責任を負いかねますので十分にご留意願います。

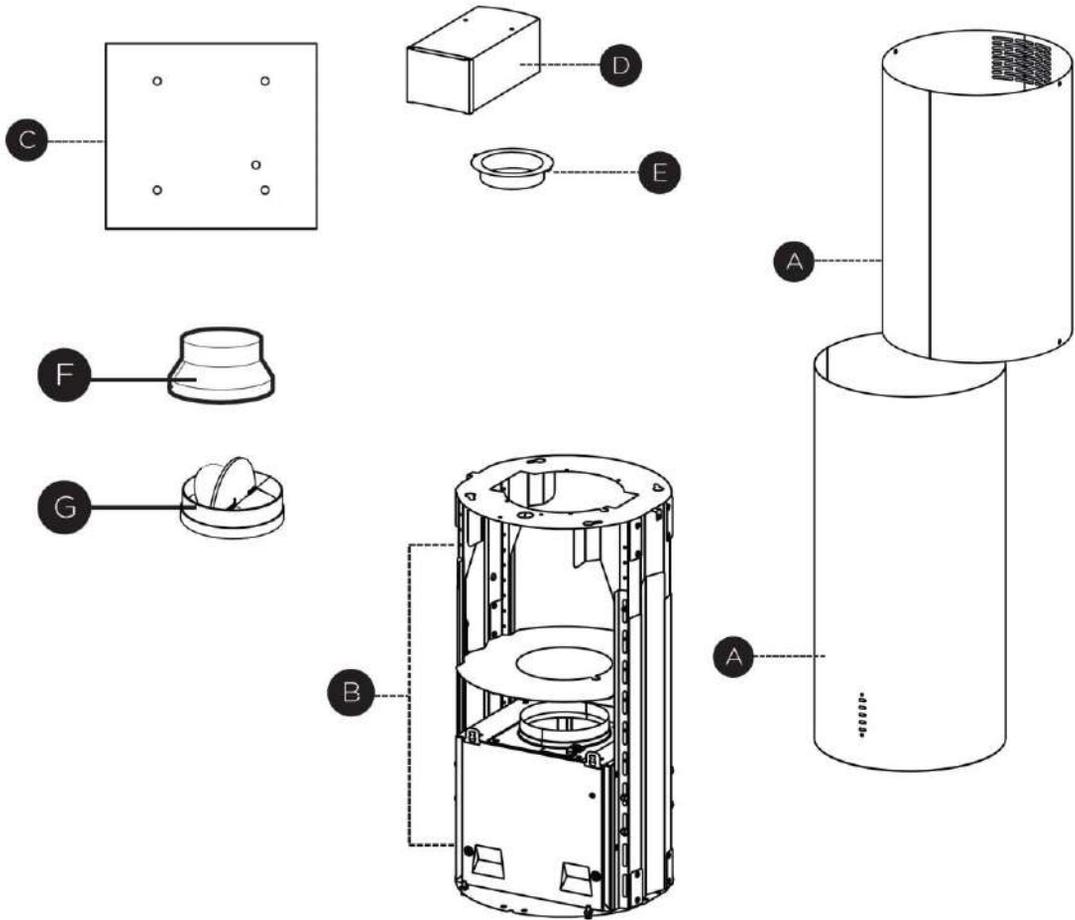
- 設置や廃棄に当たっては各地方自治体の条例などに従ってください。
- 施工は2人以上で行ってください。
- 電源は100V 50/60Hzの専用回路をご用意ください。
- コンセントには定格125V 10A以上のアース極付き(Panasonic WK30001同等品)をご用意ください。
- メンテナンスなどの作業時に感電などの事故を避けるために専用回路を設けるようにしてください。
- 必要に応じて適切な場所に点検口を設けてください。
- 本製品をメーカーの意図する目的以外で使用しないでください。
- レンジフードの排気能力を最大限発揮するために、吸気口を設けるなど気圧差を可能な限りなくす措置を講じてください。
- 補助的に別途天井換気扇の設置を推奨いたします。
- 施工にはかならず適したツールをご使用ください。
- 施工を始める前に電源へ接続し動作テストを行ってください。※仮設電源では動作しない場合があります。
- 製品の仕様は事前の通告なく変更することがございます。



WARNING

- レンジフードは屋外排気専用です。屋内への排気はできません。
- 屋根裏部屋やその他の閉鎖空間へ排気しないでください。
- ダクト径は150mmとし、終端部まで同じ径で統一してください。
- フレキシブルタイプのダクトは推奨されません。圧力損失が生まれ、レンジフード本来の排気能力が失われます。
- ダクトの長さやエルボの数は効率的なパフォーマンスを提供するために最小限にしてください。最大のダクト長さは10mです。90°のエルボ1箇所が直線ダクト長さ1.5mに相当します。
- エルボを2つ連続させる形で取り付けしないでください。
- ダクトテープを使用してダクトシステムのすべてのジョイントを目張りしてください。
- このレンジフードにはアースが必要です。
- 冷水パイプやガス管に接地しないでください。
- 接地回路にヒューズを取り付けしないでください。中性線または接地回路のヒューズは感電の原因となる可能性があります。
- レンジフードが適切に接地されているかどうか疑問がある場合は資格のある電気技師に確認してください。

構成部品



REF. PART

- A 上部/下部chimニー
- B ハンガー
- C 天井加工テンプレート
- D 室内循環排気ダクト (日本国内では使用しません。)
- E フランジ (日本国内では使用しません。)
- F 風量抑制フランジ (日本国内では使用しません。)
- G ダンパー(逆止弁)

QTY

- 1
- 1
- 1
- 1
- 1
- 1
- 1

同梱ビス/ナット

REF	PART		QTY
H	Pozi Screws (1/8" x 1/4")	 	4
I	Torx Screws (1/4" x 9/16")	 	4
L	Torx Screws (1/4" x 2 3/4")	 	4
M	Nuts		4
N	Washers		4
O	Torx Screws (1/4" x 3 1/8")	 	4

必要工具

Tape Measure



Pencil



Electric Drill with 5/16" Drill Bit



Phillips Screwdriver



Torx Screwdriver



Pozi Screwdriver



Flat Head Screwdriver



Metal sheers



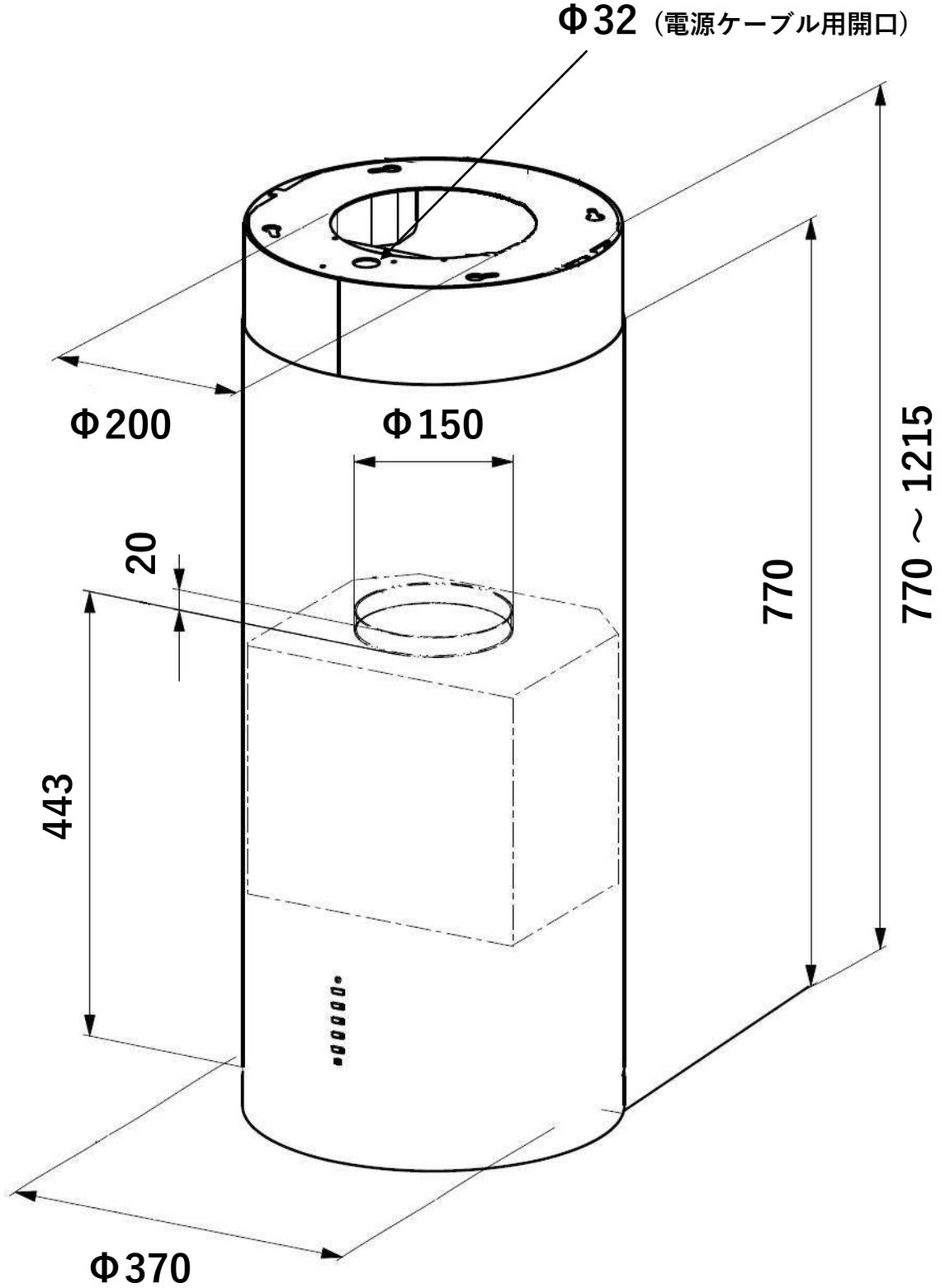
Work gloves



Foil tape



寸法図



施工手順

①本体位置決めと開口



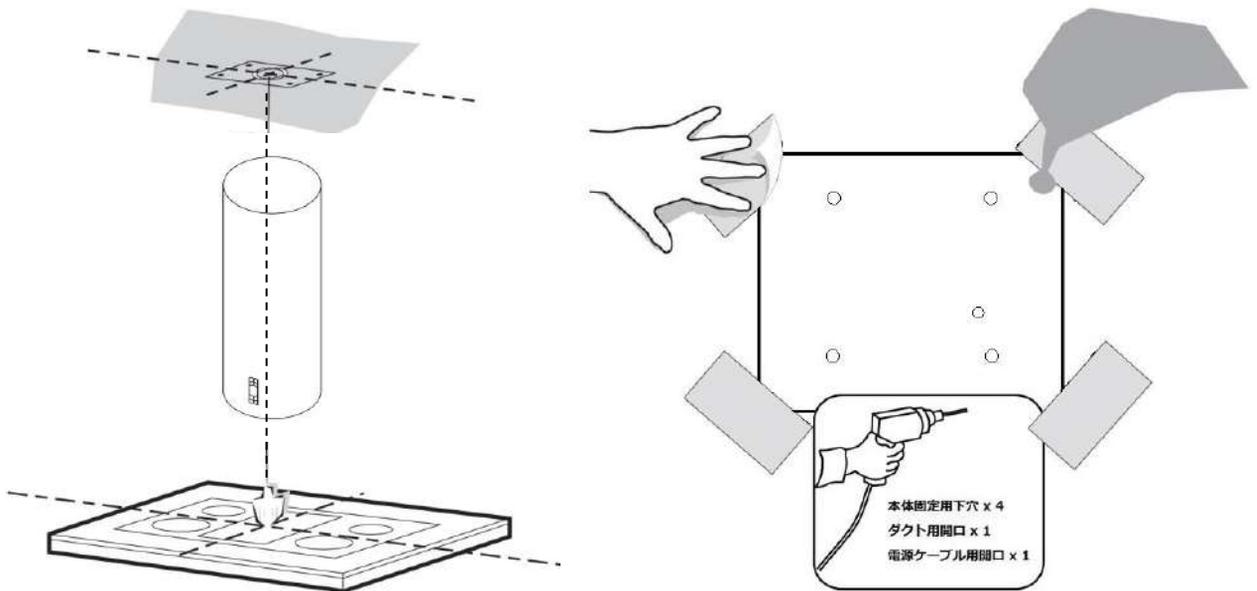
WARNING

◇取り付け部の材質や強度に応じて適切な固定具を使用してください。石膏ボード等強度のないボードには固定できません。

◇感電の恐れがございますので施工中は決してフード専用のブレーカーをONにしないでください。

◇落下物などによる破損などを防ぐため、作業中はキッチン天板、IH調理器、ガスコンロなど作業領域を十分に養生・保護してください。

◇メーカーは本書通りに施工が行われていないことによるいかなる事故、怪我、破損、製品能力の欠乏、不具合に対して一切の責任を負いかねます。



- フードの中心を決め、天井にマーキングしてください。
- 天井加工テンプレートをマーキングに合わせてフード設置の向きに注意しながら開口位置をマーキングしてください。
- マーキングに従い開口を設けてください。電源ケーブル用開口はΦ32としてください。
※吊ボルトによる施工の場合はテンプレートをを用い吊ボルトが正しい位置にあるか確認してください。

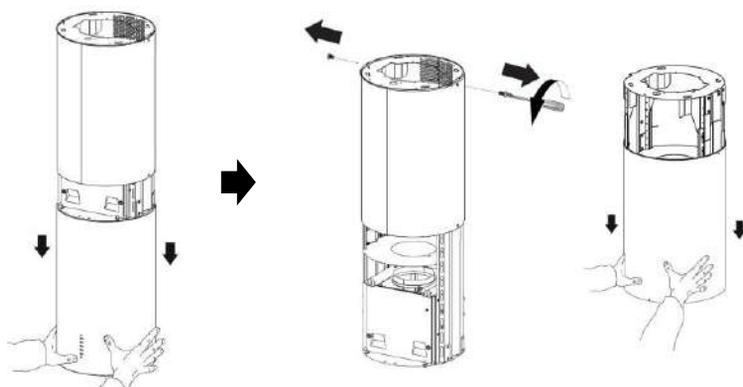
- 開口部に設置方法に応じて付属の **L** もしくは **O** を取り付けてください。この時ビス/ボルトのアタマを5mm程度残すようにしてください。

※完全に締めきってしまうとハンガーの取付ができなくなります。

施工手順

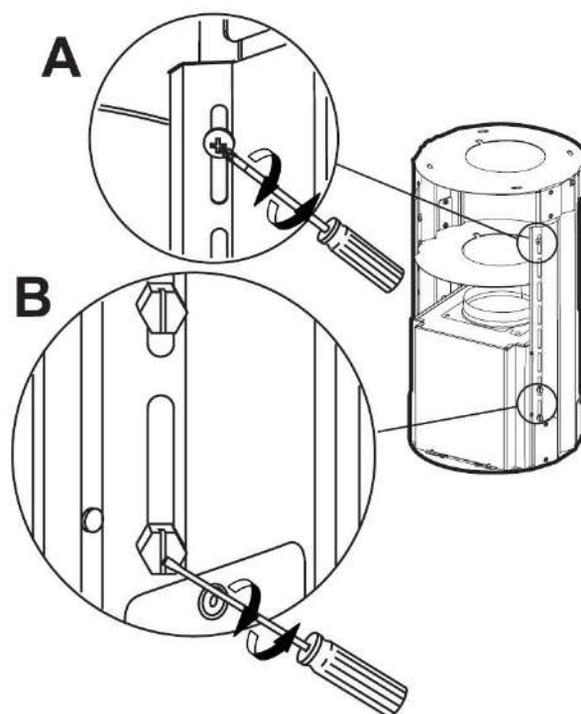
②チムニー取り外し

- ビスを緩め、ハンガーより上下2つのチムニーを取り外してください。

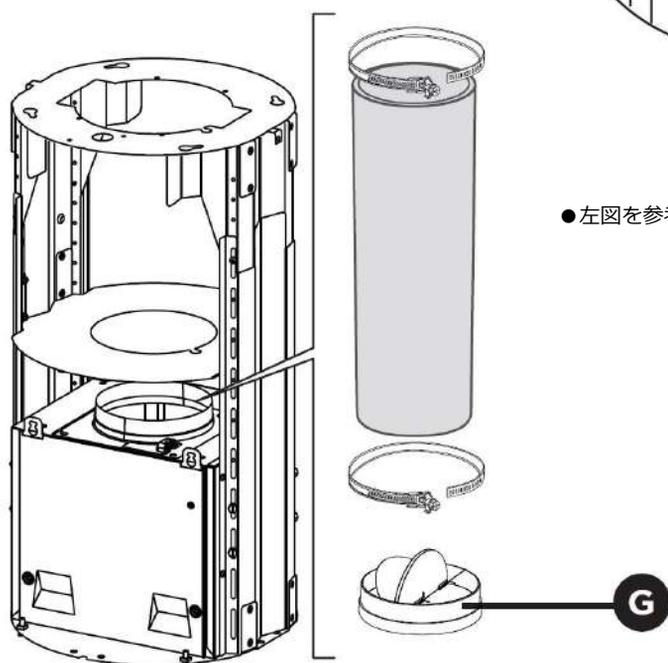


③フード長さ（ハンガー長さ）調整 ダクト接続

- 右図を参考にハンガーの長さを調整してください。



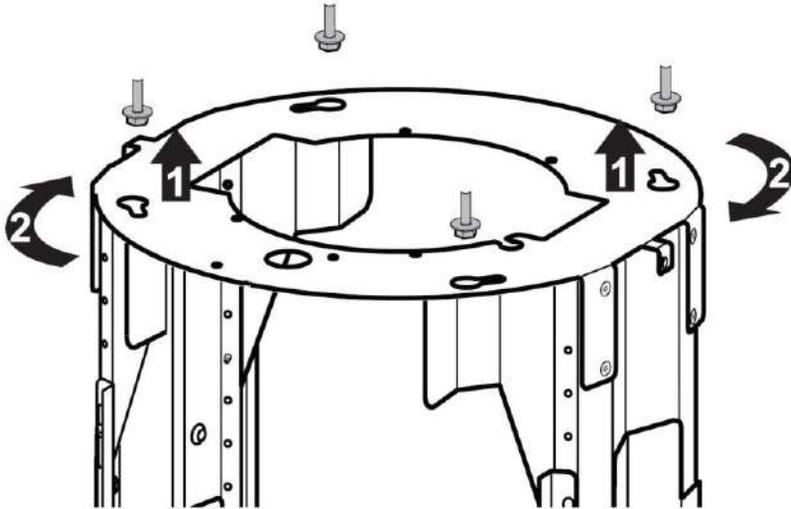
- 左図を参考にフード吐出口ヘダクトを接続してください。



施工手順

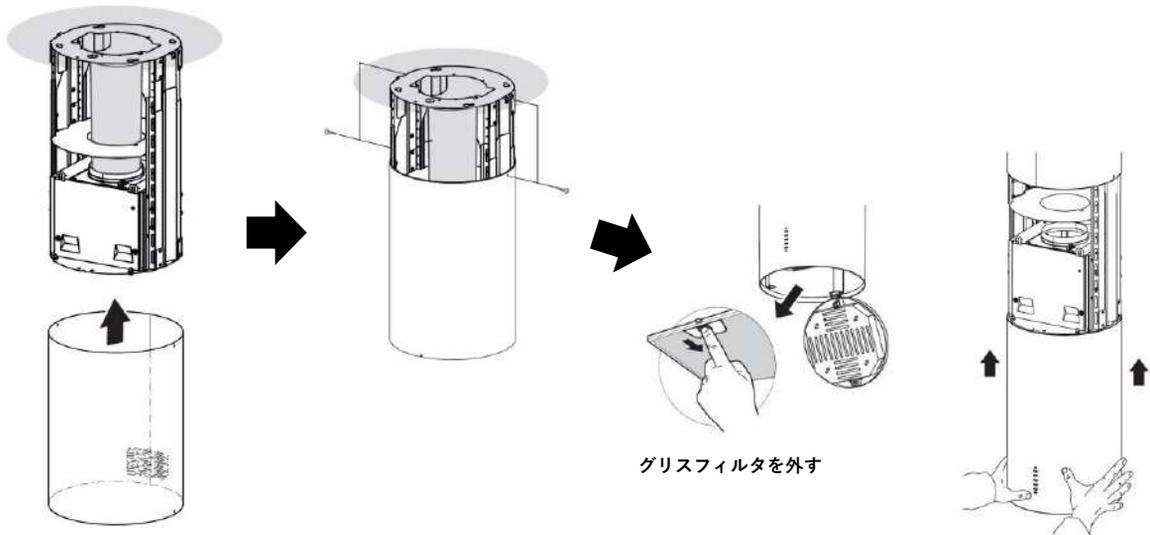
④ハンガーの吊り込み

- ハンガーつり込みの前に電源コードを天井へ開けた開口に通しておいてください。
- 施工手順①で取り付けしたビス/ボルト/吊りボルトをダルマ穴の大径部へ差し込み、ハンガーを時計回りに回し位置決めをしてください。
- ハンガーがまっすぐ正面を向いていることを確認出来たらビス/ナットの締め込みを行ってください。



⑤チムニーの取付け

- 上部チムニー（ガラリ付）をガラリが下に来るようにハンガーへ通しビス止めを行ってください。
- その後、グリスフィルタを取り外してから下部チムニーをハンガーに通して下さい。



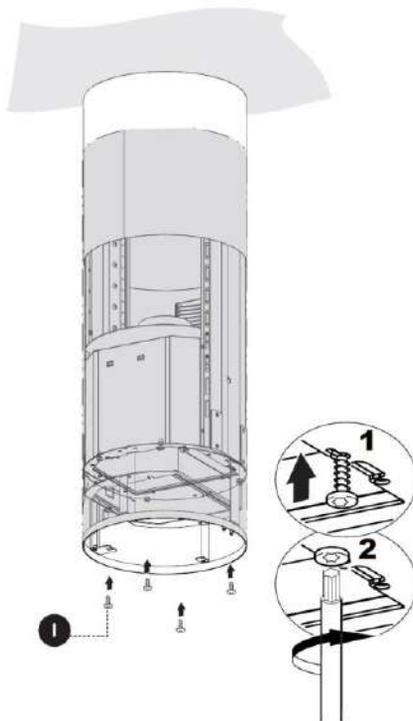
施工手順

- 付属のビス **I** x 4本を用い下部チムニーをハンガーへ

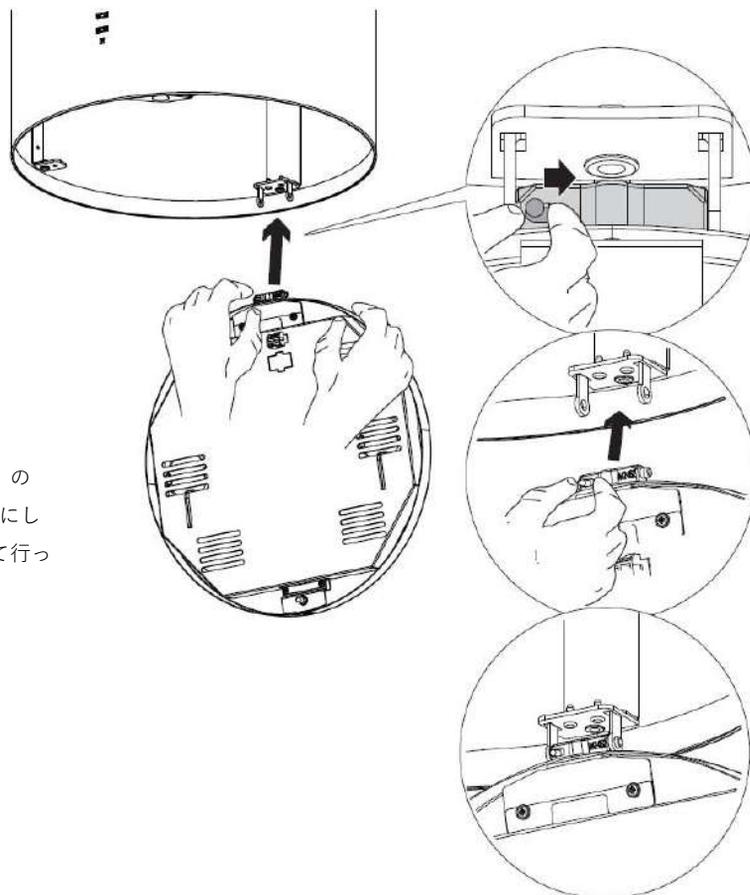
固定して下さい。

この時、ビス締め込み位置に注意して下さい。

※トルクスドライバを使用のこと。



⑥ コンフォートパネル(整流板)の取付/取り外し

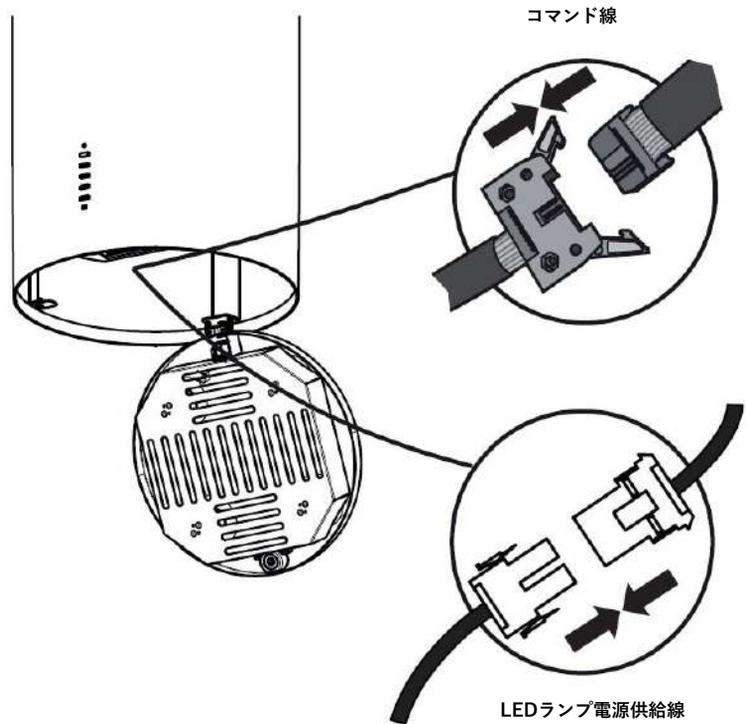


- コンフォートパネル（整流板）の取付/取外しの際は右図を参考にしつまみを右側にスライドさせて行ってください。

施工手順

⑦ コマンド線とLEDランプ電源供給線の結線

- コマンド線とLEDランプへの電源供給線のコネクタ同士を右図を参考に接続してください。



⑧ 最終の動作確認と各所養生シールの取り外し

- 最終の動作確認を行い、異音などの不具合がないか確認してください。
- フード本体やチムニーなどに貼ってある養生シールをすべて剥がしてください。
- グリスフィルタを取り付けてください。

以上で施工は完了です。お疲れ様でした。

施工についてご不明点あれば下記までお問い合わせください。

ウエスタン大阪株式会社

06-6210-4611

<http://www.western-Osaka.com>